

令和2年度第6回経営協議会議事要旨

日 時 令和3年3月23日（火）13時00分～15時20分
場 所 札幌駅前サテライト（教室1）
出席者 学外委員：今井、柿沼、串田、蔵本、小玉、松岡、見上
学内委員：蛇穴、佐川、後藤、横山、黒崎
オブザーバー：後藤、曾我、玉井、海老名
欠席者 荒井委員

議事に先立ち、学長から、資料1に基づき、第5回の議事要旨（案）について説明があり、了承された。

○議 題

1. 就業規則の制定及び改正について

人事課長から、資料2に基づき、クロスアポイントメント制度導入に係る規則制定等の説明があり、審議の結果、原案どおり了承され、役員会に付議することとした。

2. 令和3年度年度計画（案）について

海老名副学長から、資料3-1及び資料3-2に基づき、令和3年度年度計画（案）について説明があり、審議の結果、原案どおり了承され、役員会に付議することとした。

3. 令和3年度収支予算書（案）について

黒崎理事及び財務部長から、資料4-1から資料4-5に基づき、令和3年度収支予算書（案）について説明があり、審議の結果、原案どおり了承され、役員会に付議することとした。

また、本議題は報告3と関連しているため、黒崎理事及び後藤理事から、資料7-1及び資料7-2に基づき、令和2年度第3次補正予算による「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」の採択結果等について、報告があった。

【学外委員からの主な意見等】

●文科省では本学のCBTの取組について非常に高く評価している。次世代型LMSの導入により、この取組をさらに発展させてほしい。

●DX推進計画においては、オンラインプログラムによる教員研修など、全道、全国に広がるような取組を進めてほしい。

○報 告

1. 就業規則の改正について

人事課長から、資料5-1から資料5-11に基づき、年俸制導入及び人事院勧告等に伴う関係規則の改正について、報告があった。

2. 第4期中期目標・中期計画の検討状況等について

学長及び海老名副学長から、資料6-1から資料6-5に基づき、第4期中期目標・中期計画の検討状況等について、報告があった。

また、柿沼委員から、当日配布資料（柿沼委員作成）に基づき、リモート授業を考える5つの視点について、情報提供があった。

【学外委員からの主な意見等】

●（ミッション、ビジョンの）「地域再生」という表現に関して、未来を拓く、地域との共創といった意味を持つ「地域創生」や「地方創生」という表現の方が、従来の延長線上にある価値観、働き方、学び方ではない、新たなイノベーションを創り出すというメッセージ性を帯びると思うので検討してほしい。

●（研究のビジョンに）学際探究的なアプローチというものが考えられるのではないかと。自治体としては弱い点であり、自然科学と経営学等の人文社会系を融合して考える発想といったものが、行政側でも不足しがちかと思う。そういった部分で大学が客観的に関わってもらい視点も研究のビジョンとして重要ではないかと思う。

●北海道教育大学にとって学科は特徴的なものといえる。この学科において（ミッション、）ビジョンの中でどう取り組んでいくのかということに関して、教育学部の中でビジネスとの関係を考えるという意味で、教育ビジネス関連の人材育成といった切り口を検討していただきたい。

3. 令和2年度大学改革推進等補助金（デジタル活用教育高度化事業）の公募結果について

議題3の審議に併せて、報告があった。

4. 令和元年度監査結果と監事意見への対応について

学長から、資料8に基づき、監事から学長に提出のあった監査結果と監事意見への対応状況について、報告があった。

○その他

学長から、旭川校教員の懲戒処分に関して、無効確認請求提訴が提起された旨の報告があった。

以 上